

令和6年度教育活動に対する学校関係者評価書

令和7年2月13日

学校法人 若葉学園 静岡若葉幼稚園長 若林啓介

学校法人 若葉学園 静岡若葉幼稚園 学校関係者評価委員長 花村政雄

1. 幼稚園の教育目標

友だちと協力して意欲的に行動できる子、思いやりのある子

2. 本年度重点的に取り組む目標、計画

自分の考えを話したり友達の意見を聞き、協力して行動できる子を目指す

3. 自己評価とそれに対する学校関係者評価結果

A (十分達成されている)

B (達成されている)

C (取り組まれているが成果が十分でない)

D (取り組みが不十分である)

4. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	評価点	理 由
幼稚園経営全体について	A	幼稚園の教育方針や情報をわかりやすく伝えているか
	A	教職員は協力し合って園児の指導にあたっているか
	A	教職員は電話や来園者に対し誠実な対応をしているか
	A	幼稚園の環境は園児が、安全・快適な生活をするのに適しているか
	A	幼稚園は特色ある教育活動の実践に努力しているか
保育の様子	A	園児は意欲的に遊びや活動に参加しているか
	A	教職員は園児との対話を大切にし、幼児と一緒に考え、創り出す保育を心掛けているか
	A	幼稚園は生命を尊重する心や社会性のルールを守る指導をしているか
	A	指導を要する園児に対し配慮がされているか
	A	教職員は園児の模範となる言動をとっているか
保護者、地域との連携	A	教職員は保護者からの相談等に誠実に対応しているか
	B	地域の人や保護者は親しみやすい幼稚園と感じているか
	A	幼稚園は地域の人材、施設、自然等を教育活動に活用しているか
	A	子どもの安全指導について地域や保護者の協力を得ているか
	A	保護者は幼稚園の行事や教育活動に積極的に参加しているか

評価項目	具体的な取り組み	評価点	取り組み状況と反省
身体づくり	・がんばりカードの作成 ・サーキット、縄跳び、鍵盤ハーモニカを頑張る	A	・がんばりカードをクリアしようと子どもたちが意欲的に取り組んでいた ・仲間同士、教えあう姿もよく見られた
幼児と乳児の交流	・クラス単位で交流し、親しみを持つ ・一緒に歌ったり手遊びを楽しむ	A	・触れあうことで親しさが増し、年少者を労わろうとする ・一日の流れが違うので乳児に合わせ交流した
子育て支援	・園庭開放を重点に在園児との交流を図る ・園庭開放 ・園行事への参加	A	・年間 14 回園庭開放を実施。来園者の質問に答えたり、親同士の交流が見られた ・七夕まつり、クリスマス会、ひな祭りに参加 ・園生活の一端を見てもらった
地域との連携	・公園の清掃 ・高齢者との交流	B	・クラス単位で毎月 1 回行っている。ゴミ、枯葉、空き缶などを集める。公園をきれいにすることで公共物を大事にすることを心掛けたい ・介護施設や町内のお年寄りとの交流

学校関係者評価委員会の評価

幼稚園の教育目標と計画については、園児の安全対策を含め、教職員が一体となり園児の多面的な育成に努めていることが理解できました。

特に感じた点は以下の内容でした。

- ・朝の園庭では園児たちが縄跳びで和気あいあいと笑顔で元気に身体づくりに励んでいた
- ・教室での音楽はリズムに合わせて身体を動かし元気よく歌っている姿が見られた
- ・作品作りでは等身大の作品作りや個性のある作品を見ると園児たちに独創的な物づくりを指導していることが感じられた。作品の数々のクオリティがとても素晴らしいものだったので先生方のサポートの賜物だと感じるとともに昔からの若葉幼稚園の作品展の伝統を守ってくださっていることに大変嬉しく思いました。
- ・地域との交流は高齢者との触れ合いを発表会でみることができた。

今後の改善策(学校関係者評価を受けて)

心身の健康の育成を図り、今後も身体づくりに取り組んでいきたい。がんばりカードでは一人ひとりが個に即してがんばる意欲が見られ、クリアできるよう励ましたい。

日々の活動を通して友達の考えを聞いたり、協力することの大切さを今後も育てていきたい。

地域の高齢者との触れ合いは独居世帯も増加傾向にあり、園児との交流はどのようにすすめたらよいか検討したい。